

令和元年度 第1回池田町まちづくり会議 報告書

下記の会議を開催しましたので、会議内容について報告いたします。

と き 令和元年 7月30日（火）、18時00分～20時40分
と ころ 池田町社会福祉センター・1号会議室
出席委員 19人（34人中）
町出席者 齋藤企画財政課長、酒井企画財政課主幹、鈴木企画統計係長、
伊東同係主査、松岡同係主査、江口主任

1 開会（齋藤課長）

省略

2 会長挨拶

省略

（齋藤課長）

それでは、これからまちづくり会議を進めていただきますが、参加されている団体の役員改選などで、委員が代わられた団体は、今回のまちづくり会議が初めての会議となります。その委員の皆様には、お手元にまちづくり会議の設立根拠などを示した資料と一緒に委嘱状を配布させていただいておりますのでご確認ください。

本来であれば、お一人お一人紹介させていただくところではありますが、配布しています変更後のまちづくり会議委員名簿でご確認をお願いします。

また、任期については、令和2年5月31日までとなっておりますので、よろしく願いいたします。

（齋藤課長）

それでは、議事に入りたいと思います。議事進行につきまして十河会長よろしく願いいたします。

3 報告事項

（十河会長）

それでは、次第に基づき進めていきます。

報告事項の（1）池田町人口ビジョン（将来人口、産業構造等）について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 鈴木)

※資料に基づき説明。

(十河会長)

ただいま、池田町人口ビジョン（将来人口、産業構造等）について説明がありましたが、このことについて皆様方から質問・意見等がありましたらお願いいたします。

⇒質問・意見なし

(十河会長)

それでは意見等がないようですので、次の報告事項（2）住民意向アンケート調査結果について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 松岡)

※資料に基づき説明。

(十河会長)

ただいま、住民意向アンケート調査結果について説明がありましたが、このことについて皆様方から質問・意見等がありましたらお願いいたします。

⇒質問・意見なし

(十河会長)

それでは意見等がないようですので、次の報告事項（3）第4次総合計画評価結果について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 伊東)

※資料に基づき説明。

(十河会長)

ただいま、第4次総合計画評価結果について説明がありましたが、このことについて皆様方から質問・意見等がありましたらお願いいたします。

⇒質問・意見なし

4 協議事項

(十河会長)

それでは、次の協議事項に入ります。協議事項（1）池田町第5次総合計画策定方針（案）について、事務局の説明をお願いします。

(事務局 鈴木)

※資料に基づき説明。

(十河会長)

ただいま、池田町第5次総合計画策定方針（案）について説明がありましたが、そのことについて皆様方から質問がありましたらお願いいたします。

(遊佐委員)

第5次の策定方針(案)の2ページ「(2) 将来人口を見据えた計画づくり」に“現在のままでは、2040年に人口が4,255人まで減少〜”と記載されているが、前段に説明されていた「池田町人口ビジョン(将来人口、産業構造等)について」の資料と数値が合わない。また、次期総合計画を策定する上で、人口はこのまま減っていくものとして計画を策定していくのか。何とか今よりも人口が増えるように、もしくは横ばいとなるような計画を策定すべきと考えるが。

(事務局 鈴木)

第2次総合計画までは、人口が減少していくという考えを持たずに策定していた。しかし、第3次以降は町として様々な取り組みを行ってきたものの、社会減は続いている状況である。そのため、過去の総合計画策定時には、「計画性のない数値をつくっていくのはどうなのか」と指摘されてきた。そのことも踏まえ、現実的な数値をもって計画を策定してきている。ただ、新しい総合計画については、現在の合計特殊出生率1.26という数値があり、それを1.8まで上げるというのを今後10年間で考えている。社会移動に関しては、現在は50人前後が社会減となっているが、それを2040年までには2割ほど減少させていきたいと考えている。ただ、今の社会減を0にする数値にもっていきけるかという点、非常に難しいと考えている。ただ、今の意見があったので、このまちづくり会議ないし市内の検討委員会の中でも、今の人口を維持するための計画又は考え方を持てないか検討したい。

(内藤委員)

十勝管内で人口増となっている上士幌町、また、道内であれば東川町など、独自の政策をすすめている自治体へ調査を行い、その結果を計画に反映していく考えというのはあるのか。

(事務局 鈴木)

東川町については、ここ3年の間に状況を見に行っている。おっしゃるとおり、人口が減少していない先進自治体の状況は勉強すべきと考えている。上士幌町は、事務局で若干だが調べたところ、やはり子育て政策を進めていること、特にふるさと納税に特化したPR事業を進めているのが要因と聞いている。また、畜産業の関連で大きな企業体が入ってきており、雇用が伸びているとも聞いている。今回、アンケート調査の回答でもあったが、「雇用の場がない」ということが課題となっており、その雇用対策をどう考えていくかが重要。4次の総合計画では、積極的に子育て支援策を進めてきた。PR不足の面もあるが、上士幌町と比較しても遜色ないぐらいの政策をしてきた。(医療費の無償化や保育料の減免等)そうした取り組みでさらに足りない部分が雇用の場と考えている。特に、企業誘致に関しては積極的な取り組みを実施してきていない。そういった点を努力していかなければと考えている。

(河口委員)

令和3年までに2農協が合併する方向で動いている。これは重要なポイントだと考える。町と農協は両輪で補完し合うものであって、それで初めて6次産業化の話も出てくる。合併をすれば振興計画を策定するはずなので、それと総合計画の整合性をどう図るのか。

(事務局 鈴木)

当然、農業の振興計画と総合計画の整合性を図るのは重要と考える。ただ、この場でどのように整合性を図るかは決められないが、担当部門と協議する場を設けて、適切に対応していきたい。

(河口委員)

この1年間の総合計画策定では難しいと考えるが、農業の振興計画ができれば早急にそれを総合計画に組み込んで、町として後押しできるようにしなければならないと考える。池田町の場合は、農業総生産が過去高くて今が低い現状があるため、十分に原因を分析しなければならない。農業総生産が減っているのは十勝で池田町だけなので。

(小山委員)

地方総合戦略の見直しが総合計画よりも先行して行われるが、その過程はどうなっているのか。両方の計画の整合性を図るとあるが、まちづくり会議の委員が見る機会があるのか。

(事務局 鈴木)

前回の地方総合戦略策定の際も、まちづくり会議の委員に見てもらったと記憶している。総合計画が町の最上位の計画であり、その下に地方総合戦略がぶら下がる形となる。そのため、総合計画ができる前に地方総合戦略を策定できるのかの懸念があり、国に照会したところ、現状の地方総合戦略を1年間延長するということも認められているため、総合計画が出来上がった時点で、地方総合戦略を策定していくべきと考えている。

(小山委員)

順序が逆になることで、このまちづくり会議に影響や支障がないようにしていただけると助かる。

(事務局 鈴木)

総合計画の作成にあわせて、同時に地方総合戦略も作成していくようなイメージとしているが、なるべくまちづくり会議の委員の皆さんには負担をかけない形を考えている。ただ、出来上がったものはしっかりと確認していただく。まだ確定ではないが、地方総合戦略は1年延長する方向で事務局としては考えている。

(十河会長)

他に意見等はありませんか。それでは他に意見等がないようですので、次に(2)専門部会の設置について協議事項に入ります。事務局から説明をお願いします。

(事務局 鈴木)

※資料に基づき説明。

(十河会長)

ただいま、池田町まちづくり会議の専門部会設置について説明がありましたが、このことに

ついて皆様方から質問・意見等がありますか。よろしければ専門部会を設置することといたしますが、よろしいでしょうか。

⇒質問・意見なし

それでは、各部会に分かれて協議を進めていただきたいと思います。

協議事項は、「専門部会の部会長と副部会長の決定」と「池田町の良い点、課題を抽出し、改善策」を検討していただきます。時間は19時50分までとさせていただきます。では若干機の配置等を変更しますので、今から5分程休憩を取ります。

以下、各専門部会で検討及び協議

(まとめについて、別紙により)

5 その他

6 閉会